

# 果実販売動向

販売課 田村 慎平



平素よりJA相馬村フルーツステーションをご利用いただき誠にありがとうございます。11月の果実販売動向をお伝えいたします。

ミカンについては、各産地極早生種から早生種への切り替えが進み、切り替えの初期段階では売価高により荷動きが鈍い時期もありました。末端では、先月に引き続き売り場が広く確保されていることからおおむね順調な荷動きとなりました。価格も高値安定で推移しています。

柿については、月の前半は和歌山県産平核無柿中心、月の中ごろから富有柿・次郎柿中心の販売となりましたが、富有柿については高温・干ばつの影響から小玉傾向で日焼け果も多く、数が揃い切らない状況でした。ただしこれまで流通在庫を抱えながらの販売が続いていたため値ごろ感のある価格

設定となっており、ミカン同様売り場も広く確保されていたため、安定した引き合いとなりました。

リンゴについては、長野県産サンふじが11/4～11/6に各市場で販売開始になり、本県産も11月第3週からサンふじが販売開始となりました。ただし末端では中生種の在庫を多く抱えており、サンふじへの切り替えが進んでいないため荷動きの鈍い状況が続きました。黄色系についても長野県産シナノゴールドやトキの在庫が残る中でぐんま名月が安定した入荷となりましたが荷動きは悪く、厳しい販売となりました。

今後の見通しですが、ミカンについては安定した入荷量が見込まれますが、これまでの高値から荷動きが鈍くなることを懸念して価格は弱含みでの販売となる見通しです。

柿については次郎柿・富有柿が出荷ピークとなりますが引き続き数が増え切らないことが予想されます。それでも手ごろな売価帯からバラ売中心に順調な荷動きが続く見通しで、安定した販売が見込まれます。

リンゴは、本県産サンふじが各地域出揃い、長野県産サンふじは最盛期となるため総体量はさらに増加する見込みです。それに伴い中生種の荷動きはさらに鈍化するでしょうが、贈答品対応で数が揃わないサンふじの上位等級品には強い引き合いがあると思われます。

当JAでは、11月下旬から年末贈答対応の選果・荷造りが本格的に始まりました。本年度は早生種の入庫量が揃わない状況でしたが、中・晩生種になるにつれ入庫量も増えていき、なんとか贈答品の注文へも対応していくことができる見込みです。毎年飛馬りんごを楽しみにしていただいているお客様へおいしいりんごをお届けできるよう、作業を進めてまいります。

全農あおもりデータ (11/29 累計)

品 種	つがる	早生ふじ	きおう	ト キ	サンジョナ	サンふじ	名 月	その他	合 計
単 価 (円)	3,690	4,293	3,535	3,437	3,601	4,952	4,308	5,087	3,946
前 年 比 (%)	124	102	109	99	78	98	96	111	98
販売数量 (箱)	519,850	489,667	115,747	192,927	39,057	111,536	94,457	250,171	1,813,412
前 年 比 (%)	71	100	100	96	79	87	115	173	95

※10k ダンボール1箱当りの数値となります。

## 青年部通信

事務局 時苗 陸



青年部では、11月26日に今年の秋に収穫したもち米を販売するための袋詰め作業を実施しました。今年のもち米の収量は昨年と比較してやや少なかったものの、予約や直売所で販売できる量は確保できたため、安心してこの作業に取り組むことができました。

部員21名が参加した今回の作業は、毎年行っている事業であるため、作業は比較的スムーズに進行しました。

米の価格が高騰している中、もち米の価格も上昇している状況ですが、青年部のもち米は、創立60周年を記念して、今年の予約販売価格を1kg660円に設定しました。その甲斐もあり、予想以上の予約がありました。総数量の約6割以上が予約品となる結果でした。

ご購入いただいた皆様、誠にありがとうございました。また購入できなかった方は、規格や価格が



## 絶賛販売中!!

直売所『りんごの森』において、青年部のもち米1袋1・5kgで販売しております。年末やお正月にお餅を召し上がる際に、ぜひ青年部のもち米をご購入いただけますようお願い申し上げます。



異なりますが、直売所で購入可能です。今年も青年部では、ゆうパック宅配受付サービスを実施いたしました。ゆうパックへの変更から2年目を迎えました。が、本サービスを利用される方々の需要は増加していると考えています。利用者の方々への需要が今後も続くように、次世代への継承を少しずつ進めながら取り組んでおりますので、今後ともご利用のほどよろしくお願いいたします。

